



## 医療の質の向上

病院職員は常に研鑽して知識と技術の向上に励み、病院全体の医療の質の向上を図っています。

当院は、「より質の高い心あたたまる医療の実現」という理念のもと、千歳や恵庭、安平、由仁などを含む地域の基幹病院として、救急・高度医療をはじめ、小児・周産期医療の中核的な役割を担っています。この役割を果たすために、当院では医療への信頼と質の向上に努めるとともに、地域の皆様に安心と安全を提供し、一人でも多くの患者さんに満足いただけるよう努めています。

### 診療機能の充実

地域の基幹病院である当院では、13科目の診療科（内科・循環器科・消化器科・小児科・外科・脳神経外科・整形外科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・皮膚科・泌尿器科・麻酔科）を開設し、急性期医療中心の診療を行っています。さらに、高機能なマンモグラフィによる乳がん検診等に対応した健診センター、充実した透析環境を整えた人工透析室、入院支援センターのほか、地域包括ケア病床や緩和ケア病床、禁煙外来、フットケア外来、ストーマケア外来、助産外来などの開設・運用により、地域のニーズや患者さんの様々な症状に対応できるよう診療機能の充実に努めています。



### チーム医療の推進

患者さんのニーズに対し、きめ細かく的確に対応するために、診療においては様々な職種がチームとして最適な医療を提供することが重要です。当院では、多職種によるカンファレンスのほか、「栄養サポートチーム」や「緩和ケアチーム」などを設置することによって複数の医療専門職が連携する環境をつくり、チーム医療の推進を図っています。職員が一丸となってチーム医療の推進に積極的に取り組むことにより、患者さん中心の医療の実現を目指しています。



### 救急医療の充実

市内最大の救急告示病院である当院は、地域における1次・2次救急医療体制の一翼を担っており、各医療機関との役割分担や相互連携をしながら、救急医療体制の充実に努めています。また、消防機関と合同で研修会を開催して連携を強化するなど、突然の発症等で救急搬送される患者さんに対して迅速かつ適切な医療を提供できるよう取り組んでいます。



### 職員の資質向上

医療技術は日々進歩しており、医療職は常に新たな技術や知識を習得しなければなりません。当院では、「医療職等のキャリアアップ支援」を重点施策に掲げて取り組んでおり、医師については、各種学会への参加費用や研究発表の実績に対する調査研究手当を支給しているほか、各種学会認定医、専門医、指導医の資格取得や更新費用の助成を行うなど、手厚い支援を行っています。職員のキャリアアップやスキルアップを積極的に支援することにより、病院全体の医療の質の向上を図っています。

